

(Veronica spuria L.)' 並みせらるんムシヌ (Veronica spuria L. var. angustifolia BENTH.)' ひめしむん (Aster fastigiatus FISCH. ET MEY.)' ふりあぐる (Monochoria Korsakowii REGEL ET MAACK.)' ふくね ふくへ (Anemone japonica SIEB. ET ZUCC.)' ふくねふく (Anemone cernua THUNB.)' かへんじんわ (Clematis paniculata THUNB.)' へんじんわ (Clematis heracleifolia DC. var. stans O. KUNTZE.) ナドガ其レデアルガ尙 ホ其外ニ澤山ナ種類ガアツテ其新材料ニハ決シテ不足ヲ告グル様ナ事ハナク其邊ハ一向心配無用デアル
又花或ハ實ヲ觀賞スベキ木本植物デモ同様改良スベキ山野ノ自生品ガ少クナイ、彼ノほんれしもつけ (Spiraea salicifolia L.) ノ如キ、又こむらなわ (Callicarpa purpurea Juss.) ノ如キハ改良セバ好植物トナルデアラウ、今 外國カラ來テ能ク世間ニ見ル半藤生ノ美花ヲ開キ繁殖旺盛ナ一薔薇ノ如キモ其片タ親ハ我ガてりはのこばら (Rosa Luciae FR. ET SAV.=R. Wichuriana CREP.) レイフデハナイカ
又單ニ觀賞用植物バカリデナク食用植物リヤ野生品ヲ原トシテ改善シ得ベキモノガ若干アル、即チ彼ノあした ば (Angelica utilis MAKINO.) ノ如キ又ぼたんぼうべい (Peucedanum japonicum THUNB.) ノ如キ之レヲ烟ニ 栽エテ充分ニ肥料ヲ與ヘ之レヲもやし式ニ作レバ忽チ食膳ニ上スマキ好蔬菜トナルデアラウト思フガ未ダ誰レ も之レヲ試ミタモノガナイ又やぶくわんかう即チ往々かんかうナ (Hemerocallis fulva L. var. Kwanso RICHT.) レ呼ベル、野草モ之レヲ培養セバ野外ノモノヨリハ無論良クナルデアラウト思フ、又しほや (Smilax nipponica MIQ.) モ作ツテ肥大ナモノトセバ今ヨリハズット立派ナ好蔬菜ト化セシムル事ガ出來ルノデアル
私ハ右ニ關シテ今日我邦園藝家ノ奮起ヲ望ンデ止マナイ

○レーリホ、カグホ、ヘビだニ就テ述ア

理學博士　白井光太郎

しよりま、かぐま、てんだニ就テ述ア

ヨロマなどゝ云石長生、小雉尾草貫衆等の類吾邦にてしだ、しのぶなどいへる草の屬をすべていふ也ビロ、に毛蕨^{モクダ}あり亦シヨリマといふ大沼嶺に貫衆あり亦シヨロマと云或チクニタソバコと云此東都にてしがしらと稱するもの也其類多しといへども一々しるしがたし」トアルニテ知ルベシ

かぐまハ内地ニテ羊齒ノ屬ヲ呼ブ名ナリシガ如シ秦檍丸寛政七年ノ著述越後七不思議考中臭水ノ條ニ下ノ説アリテかくま草トイフ名出ヅ「越後蒲原那柄目木村新田村南の谷に臭水涌出す火の條下に云如く三品の中燈油に用ゐる品なり此谷間何地にも涌出る其中にも深さ四丈余の井戸あり(地獄坪と云)是より大に涌て民用に足る又東方の谷三丁ばかり奥に本坪と云に廣さ丈餘六角に杭を打高さ六尺ばかりに竹にて垣を周らしたり其水溜りで縹色涌騰する事如熱湯油を取るにかくま草とて蕨の穂の出たる状の草葉にしめして樽にしづり入る此谷の中の石腦油の臭氣甚あしく人の質によりて頭痛を惱む事あり云云かくま草此草如葦に束ねて臭水をしめし採るなり」トアリ予此カクマ草ノ標本ヲ得ント欲シ先年越後新發田中學在勤ノ中村正雄氏ニ依頼シテ此草ヲ取寄セテ之ヲ検査セシニリやうめんしだニ外ナラザリシ又田村西湖ノ豆州諸島產物圖説ニ八丈方言かくまりノ説アリ其圖ヲ見ルニ内地ノこもちだナルガ如シ其説ニ「八丈島東山陰地に生ず苗高二三尺狀蕨に似て莖葉共に長大其莖大サ筋の如く其葉鋸齒有て兩々對生す六月葉上花を着く花も亦青くして葉の色と同じ其根大なる者拳の如く長サ四五寸形狗背の如くにして黃赤毛あり」トアリ此葉上ノ花トイフハ子持しだノ葉芽ヲ指セシモノナル事必セリ斯ク遠隔ノ地ニかくまノ名ノ遺存スルハ我邦ニテ古代弘ク行ハレシしだ類ノ方言ナリシヲ證スルモノカト思ハル然ルニ茲ニ又考フ可キハ和名抄ニ黃連ノ和名ヲかくまくさト記スル事ナリかくまくさノ名黃連ヨリ羊齒ニ移リシカ羊齒ノ葉ガ黃連ニ似タルヨリ羊齒ヨリ黃連ニ移リシカ此事情ヲ判定スル事ハ頗ル難事ナレドモかくまくさノ名ハ羊齒ガ先ニテ黃連ヲかくまくさト名付ケシハ羊齒葉ノ連想ヨリ來リシニハ非ザルカト僕ハ考フ

ルノデアル何トナレハ子持しだノ葉ハ餘リ黃連ノ葉ニ似タ處ガ無イカラデアル
 次ニでんだノ意味デアルガ是ハれんだノ轉訛ナラント思ハル先年或人ガ理科大學植物學教室ヘ舊本草家竹内某
 所製臘葉數百種ヲ寄附セシ事アリシ時其臘葉中ニいはれんだト記名セシ標品アリシヲ見タリ然レバいはでんだ
 ハ元ハいはれんだトモ呼ビシモノナルハ明ナリれんだトスレバ連采ノ意トナリ葉ノ欠刻ノ並列セルヲ表ハス事
 トナリ意義アル名稱ト云フ事ヲ得ベシ又おしゃごしでんだノおしゃごしハ松井某ノ羊齒目錄ニヨレバおしゃく
 じでんだ、おしゃごしでんだ木曾社貢司ノ森ニアルヲ以テ名ニ呼ブト云ナリトアリ、聊カ所見ヲ述ブトイフ

○數字ニ敏感デアリタイ

小南清

由來植物學ハ精密科學ノ領域ヲ去ルコト遠イ故コノ學ニ携ハル我々ハ數量ニアマリ重キヲ置カヌ爲メ往々數字
 ニ誤ガアツテモ無關心デアル場合ガ少クナイ、普通ノ文章ニ誤字脱字ガアツタトテ全ク意味ノトレヌ程ノコト
 モナイガ數字ハ單的ニ或ル感念ヲ表現スルモノデアルカラ一字デモ間違ッテハ意味ヲ成サナクナル、コレヲ使
 用スルニ當テ一字一畫モ忽ガセニデキヌ、筆者ハ嘗テ雜誌『科學知識』ノ依囑ヲ受ケテソノ餘白ニ面白イ數的
 問題(コレハ植物學上ノ問題デハナカツタガ)ヲ或ル佛語ノ雜誌カラ抄錄シタコトガアツタ、時ノ編輯長ハ殊更
 ニ筆ヲ加ヘテ書キ改メ全ク無意味ノ數式ヲ作ッテシマツタ、發行セラレタノヲ見テ直ニ正誤ヲ申込ンダガ彼ハ
 コレヲ肯ゼズ單ナル誤植ニ過ギズト放言シテ罪ヲ印刷工ニ着セ拭フコトノデキヌ汚點ヲ『科學知識』誌上ニ残
 シテシマツタ、誤植ハ印刷物ニ附キ物ノ如ク考ヘ罪ヲ印刷工ニ歸スルノハ「ジャーナリスト」ノ慣用手段デハ
 アルガ決シテ良心アル科學者ノ學ブベキコトデハナイ
 細胞ノ發見者 ROBERT HOOKE ガ Micrographia ヲ發行シタ年號ヲ或ル學者ハ一六六五年トシ他ノ學者ハ一六